

2012 年度災害避難状況報告書：ダイジェスト版

2012 年の世界各地の災害避難状況

- ・洪水、嵐や地震などの自然災害により、2012 年の 1 年間で（2011 年のほぼ倍の数の）推定 3240 万人が避難を余儀なくされた。
- ・2012 年のほとんどすべての災害による避難（98%）は気候・天候関連の自然災害が原因であった。
- ・2012 年の最大の人口移動は北東インドおよびナイジェリアほぼ全域で発生した大規模な洪水災害による避難であった。世界全体の 41%にあたる 690 万、610 万人がそれぞれの国で避難民となった。
- ・98%の避難民は発展途上国で発生した。災害に対して脆弱な最貧国と低地の島が最も大きな被害を受けた。
- ・しかし、先進国も大きな被害を被った。米国が今年の避難民の数において上位 10 カ国に入った。

アフリカ

- ・2012 年のアフリカでの避難民数は過去 5 年で最高水準に達した。2011 年の 665,000 人に比べて、2012 年は 820 万人が新たに家を追われた。
- ・西アフリカ及び中央アフリカの 13 カ国で発生した洪水災害は、すでに深刻な食糧不足、紛争及び暴力に直面している人々の脆弱性と重なり、大規模人口移動を誘発した。チャド、ニジェール、ナイジェリア、南スーダンが最悪の被害を受けた。
- ・2012 年、チャドは人口に対しての避難民の数で世界一であった。ナイジェリアの洪水災害は世界で二番目の規模の災害避難を引き起こした。

アジア

- ・これまでと同様、最も多くの避難民が発生した地域はアジアであった（世界全体の 68%、2220 万人）。
- ・インド北東のアッサム州とアルナーチャル・プラデーシュ州では、モンスーンによる洪水が 690 万人の家を奪うという年間最大の人口移動を引き起こした。
- ・パキスタンでは 100 万人以上の人々が 3 年連続で洪水により家を追われた。2012 年の洪水から 8 ヶ月経ち、雨季が間もなく始まろうとしている今も（2013 年 4 月現在）、120 万人が一時的な避難所で生活している。
- ・フィリピン南部ミンダナオでは近年異常に多くの災害避難を記録した。2011 年 12 月に起きた台風ワシから復興している中、2012 年には（ちょうど一年後に発生した台風ボパなどの）自然災害によってさらに 180 万が避難を余儀なくされた。紛争から逃れてきた避難民も更なる被害を受けた。

アメリカ大陸

- ・米国はハリケーン・サンディ（避難民 775,000 人以上）と森林火災の被害により、2012 年の避難民数で上位 10 カ国に入った。
- ・人口と比較した場合、ハイチは世界の他のどの国よりも過去 5 年間の避難民の数が多い（人口の 19%に相当）。

・ハリケーン・サンディは8カ国、ラニーニャ現象による洪水はペルーとコロンビアにそれぞれ被害を与え、合計180万人が新たに家を追われた。

オセアニア

・オセアニアでは、過去5年で最高の避難民数が報告された。オーストラリア、パプアニューギニア、そしてフィジーなどで、洪水や暴風雨災害により128,000人が家を失った。

ヨーロッパ

・ヨーロッパでは、最大規模の国内避難が、ロシア（主に洪水災害が原因）、イタリア（地震が原因）、及びスペイン（洪水や森林火災が原因）で報告された。

過去から未来の世界的傾向

・過去5年間（2008年から2012年まで）、少なくとも1.44億人が災害により家を追われた。

・中国、インド、パキスタン、フィリピン、そしてナイジェリアは2008年から2012年からの合計の避難民数で一貫して上位5ヶ国である。

・避難リスクは災害リスク増加に伴い上昇すると予想されている。より多くの人々が早期警戒システムのおかげで災害を免れているが、それ以上の人々が新たに避難している。ますます多くの人々が災害に対する脆弱性に苦しんでいる。今後数十年は、気候変動が自然災害の頻度と激しさを助長すると予測される。

・先進国と発展途上国の両方で避難民が発生した。過去5年間で日本と米国などの250万人の先進国の住民が家を失った。両国は2008年から2012年の避難民数上位20カ国に入る。

・2008年から2012年の間、五つの大規模災害がそれぞれ600万人～1500万人の家を奪った。これには、中国で発生した2010年モンスーンによる洪水や2008年四川大地震災害、パキスタンの2010年モンスーンの洪水、そしてインドとナイジェリアの2012年洪水災害が含まれる。

・各国政府は防災、そして災害避難に備えるための対策を実施する必要がある。

複合脆弱性と情報盲点

・多数の人が長年にわたって避難を繰り返している。これは、復興を妨げ、新たな災害に対しての脆弱性を助長している。被害を受けた国の四分の三で災害による度重なる人口移動が報告されている。

・2012年に災害による避難を経験した国の四分の一が紛争の被害も受けている。IDMCの先月の報告書によると、武力紛争、一般的な暴力と人権侵害により650万人が避難民となった。

・災害後長期間避難し続けている人のデータはない。しかし、住居・生活が破壊され帰郷が不可能な避難民にとって、避難生活の長期化は一般的であり、この分野の致命的な情報盲点になっている。安全かつ持続可能な解決策がない限り、避難民は更なる放置と権利の侵害に遇う危険にさらされている。

・各国政府はニーズを特定するための最初の一步として避難民の状況に関する信頼性の高いデータを体系的に収集する必要がある。そして、支援を優先し避難民を将来の災害リスクから保護する対策を提供しなければならない。